

半沢直樹アルルカンと道化師

著者名：池井戸潤
出版者：講談社

東京中央銀行大阪西支店の融資課長・半沢直樹のもとにとある案件が持ち込まれる。大手IT企業ジャッカルが、業績低迷中の美術系出版社・仙波工藝社を買収したいというのだ。大阪営業本部による強引な買収工作に抵抗する半沢だったが、やがて背後にひそむ秘密の存在に気づく。有名な絵に隠された「謎」を解いたとき、半沢がたどりついた驚愕の真実とは――。

水を縫う

著者名：寺地はるな
出版者：集英社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

「男なのに」刺繍が好きな弟の清澄。「女なのに」かわいいものが苦手な姉の水青。「愛情豊かな母親」になれなかったさつ子。「まっとうな父親」になれなかった全と、その友人・黒田。「いいお嫁さん」になるよう育てられた祖母・文枝。普通の人なんてない。普通の家族なんてない。世の中の“普通”を踏み越えていく、6人の家族の物語。

中年の本棚

著者名：荻原魚雷
出版者：紀伊國屋書店

リクエスト
ありがとうございます
ございます

気力・体力・好奇心の衰え、老いの徴候、板ばさみの人間関係、残り時間…人は誰でも初めて中年になる。この先、いったい何ができるのか―中年を生き延びるために。“中年の大先輩”と“新中年”に教えを乞う読書エッセイ。

あきない世傳金と銀 9

著者名：高田郁
出版者：角川春樹事務所

リクエスト
ありがとうございます
ございます

大坂から江戸に出店して四年目、まさにこれから、という矢先、呉服太物商の五鈴屋は、店主幸の妹、結により厳しい事態に追い込まれる。形彫師の機転によりその危機を脱したかと思いきや、今度は商いの存亡にかかわる最大の困難が待ち受けていた。だが、五鈴屋の主従は絶望の淵に突き落とされながらも、こんこんと湧き上がる泉のように知恵を絞り、新たなる夢を育んでいく。

気がつけば、終着駅

著者名：佐藤愛子
出版者：中央公論新社

離婚を推奨した1960年代、簡単に結婚し別れる2020年。世の中が変われば、考えも変わる。初エッセイから55年。佐藤愛子、これでおしまい。

こんぱるいろ、彼方

著者名：柳月美智子
出版者：小学館

リクエスト
ありがとうございます
ございます

「ベトナム人？お母さんが？」娘、二十歳の夏。家族の秘密を伝える日がやってきた―『るり姉』『明日の食卓』家族小説の名手が70年代末に来日したポートピアブルー家のその後を描く新境地。

いのちの停車場

著者名：南杏子
出版者：幻冬舎

リクエスト
ありがとうございます
ございます

東京の救命救急センターで働いていた、62歳の医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り「まほろば診療所」で訪問診療医になる。「命を助ける」現場で戦ってきた咲和子にとって、「命を送る」現場は戸惑う事ばかり。老老介護、四肢麻痺のIT社長、6歳の小児癌の少女…現場での様々な涙や喜びを通して咲和子は在宅医療を学んでいく。一方、家庭では、骨折から瞬間に体調を悪化させ、自宅で死を待つだけとなった父親から「積極的安楽死」を強く望まれる…。

生かさず、殺さず

著者名：久坂部羊
出版者：朝日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます
ございます

がんや糖尿病をもつ認知症患者をどのように治療するのか。認知症専門病棟の医師・三杉のもとに、元同僚で鳴かず飛ばすの小説家・坂崎が現われ、三杉の過去をモデルに「認知症小説」の問題作を書こうと迫ってくる。医師と看護師と家族の、壮絶で笑うに笑えない本音を現役医師が描いた医療サスペンスの傑作。

家族じまい

著者名：桜木紫乃
出版者：集英社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。別れの手前にある、かすかな光を描く長編小説。

アーモンド

著者名：ソンウォンピョン
出版者：祥伝社

扁桃体が人より小さく、怒りや恐怖を感じることでできない十六歳の高校生、ユンジエ。そんな彼は、十五歳の誕生日に、目の前で祖母と母が通り魔に襲われたときも、ただ黙ってその光景を見つめているだけだった。母は、感情がわからない息子に「喜」「怒」「哀」「楽」「愛」「悪」「欲」を丸暗記されることで、なんとか“普通の子”に見えるようにと訓練してきた。だが、母は事件によって植物状態になり、ユンジエはひとりぼっちになってしまう。

やまゆり園事件

リクエスト
ありがとうございます
ございます著者名：神奈川新聞取材班
出版者：幻冬舎

植松死刑囚との37回の接見ほか、4年にわたる取材から、犯罪史に残る凶悪犯の実像と、彼を生んだ社会の闇に迫る。

娘のトリセツ

著者名：黒川伊保子
出版者：小学館

父と娘、もしかすると、この世で一番深い「男と女の縁」なのかもしれない（本文より）。「娘の言動が理解不能」「思春期になり、扱い方がわからない」「ウザい、臭いと言われる」…など、父と娘には万国共通かつ普遍のミゾがある。しかし幼少期から成人まで、娘の脳の仕組みを知ること、父は娘を幸せにし、娘の一生を守ることができるのだ。

マンション管理員オロオロ日記 当年72歳、夫婦で住み込み、24時間苦情承ります

著者名：南野苑生
出版者：三五館シンシャ

マンション管理員といえば、エントランス横にある小さな事務所にちょこんと座っている年輩男性というイメージをお持ちの人が多いのではないだろうか。たしかに管理員は高齢者と相場が決まっている。若くてもせいぜい60歳くらいだろう。ところで、なぜ老人ばかりなのだろう。すばり言おう。賃金が安いからである。

シルバー川柳 10

著者名：全国有料老人ホーム協会 ポプラ社編集部
出版者：ポプラ社

「スクワットしゃがんだままで立てません」「朝起きてヤル気スイッチ又故障」「減ってきた貯金体力妻の愛」「缶詰めは猫はマグロでわしイワシ」ロコミ人気で、シリーズ累計90万部！記念すべき第10弾は、梅沢富美男さんが大絶賛！物忘れも、医者通いも、はたまたビミョーな夫婦関係も。シニア世代を中心とした、まさに人生の達人たちによる川柳傑作選。

カレーのおうさま

著者名：山本祐司
出版者：ほるぷ出版

たまねぎ、じゃがいも、にんじんが、「わたしはカレーのおうさまよ」「わしがおうさまだ」と、さわぎだしました。そこに、おにくたちもやってきて…。さあ、だれがカレーのおうさまなのでしょう？

あんぱんジャムパンクリームパン 女三人モヤモヤ日記

リクエスト
ありがとうございます
ございます著者名：青山ゆみこ 牟田都子 村井理子
出版者：亜紀書房

仕事、急に増えた家事、家族やペットのこと、必死で探したほっとする時間。人生を揺るがす出来事を前に、戸惑い、恐れ、苦しむ。でも、おいしいものを食べて、みんなで話せば何とかやっていけるかも。日々のモヤモヤを3人でつづるエッセイ集。

なぜか話しかけたくなる人、ならない人

著者名：有川真由美
出版者：PHP研究所

会話に自信がなくても出会いの数が多くなり、チャンスが増える！人に好かれる「好印象」の魔法。

くそじじいとくそばばあの日本史

著者名：大塚ひかり
出版者：ポプラ社

「昔の人は短命」はウソ！老いてなお、力強く生きる老人たちがいた。現代人のイメージを覆す、昔の老人たちの強烈な人生を綴ったエネルギッシュな1冊！知られざる老人たちの歴史が今明かされる！

おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」

著者名：高濱正伸
出版者：日本図書センター

ベストセラー『よのなかルールブック』待望の入門編！どんなことをどう伝えたらいい？親子で読みたいしつけの絵本。「メシが食える大人」になるための土台として、小学校入学前後に身につけたい42の習慣。どこまでできたかひとめでわかるおやくそくリストつき！

どうしてしんがたコロナになるの？

リクエスト
ありがとうございます
ございます著者名：松永展明 せべまさゆき
出版者：金の星社

【子どもたちが正しい知識を身につけて、自らの身を守る習慣づけ】の一助となることを願い、緊急出版！連日、感染者が増え続け、終息時期が見えないウイルス“新型コロナウイルス”。急に保育園、幼稚園、学校が休みになったり、公園や遊園地にも行きづらくなった子どもたちも、不安な気持ちでいっぱいになっていることでしょう。この絵本は、やさしいイラストと言葉で、“新型コロナウイルス”について幼児にも理解しやすい内容になっています。